令和7年度 岩国市デジタル活用人材育成・人材確保支援事業

事例紹介

ユニオン石油工業株式会社

会社概要

会社名	ユニオン石油工業株式会社
所在地	山口県岩国市装束町1丁目5番19号
事業内容	石油製品製造業
従業員数	93人





プログラム参加のきっかけ

当社ではDX推進に向けた社内の戦略課題チームを立ち上げ、人材育成を進めております。その中で本プログラムの紹介を受け、実践的に学べる機会として参加いたしました。また、工事に関わる事務業務では紙を中心とした運用や転記作業が多く、業務負担の増加が課題となっていました。そこで業務フローを整理することで現状の複雑さを可視化し、課題の明確化と改善の方向性を見出したいと考えたことも参加のきっかけです。

プログラムで取り組んだ内容と成果

1つ目の取り組み

課題整理

資材費・労務費業務を中心に現状の業務を整理し、転記作業や紙業務の多さといった課題を明確化。

2つ目の取り組み

業務フロー作成

業務の複雑さや非効率な工程が明確になり、データの一元管理や業務効率化の必要性が整理された。

3つ目の取り組み

体制図作成

工場長を中心に、総務部・工務課・製造課・業務課・安全環境課など、関係部署を横断した体制を整理し全社的にDXを推進する基盤を構築。

見えてきた課題と目指す姿

現状 -見えてきた課題-

▲紙資料や転記作業が多く業務負担が大きい

▲転記作業に月間約100時間の工数が発生

▲紙回覧による承認遅延・承認ルールの曖昧さ

▲購入データと支払いデータの二重入力発生



2027年 -今後の目指す姿-

●注文書発行業務の電子化・自動化
（30%コスト削減）

●データ一元管理による集計・分析の効率化

●作業時間削減による残業削減・業務負担軽減

● ペーパーレス化による承認時間の短縮と承認ルート明確化



令和7年度 岩国市デジタル活用人材育成・人材確保支援事業

事例紹介

ユニオン石油工業株式会社

今後の取組内容

1 業務フローの可視化と課題の明確化

1月

研修で作成した業務フローをもとに、資材費・労務費業務の流れを実態に即してブラッシュアップします。

＼ポイント／
業務フローを活用し現状と理想のギャップを明確にすることで、**効果的な業務改善**につなげます。

2 ノーコードツール導入による情報共有の促進

2月

注文書発行やデータ管理業務について、ノーコードツールの導入を進め、入力・承認・共有のデジタル化を図ります。

＼ポイント／
転記作業や二重入力を削減し、**業務の自動化とスピード向上**を実現します。

3 従業員への丁寧な研修とサポート体制の構築

3月以降

ツール導入後の定着に向けて、従業員への操作説明や研修を丁寧に実施します。また利用者ごとに業務内容が異なるため、個別に対応できるサポート体制を整備します。

＼ポイント／
現場に合わせた支援を行い、無理なく運用を定着させることが成功の鍵となります。

期待できる効果

- 転記作業削減による業務時間の短縮
- ペーパーレス化による承認スピードの向上
- データ一元化による管理・分析の効率化
- 作業時間50%削減による残業削減
- コスト削減及び生産性向上



担当者インタビュー

Q プログラム参加を通じて今後どのようにDXを進めていきたいですか？

A 今回のプログラムを通じて、DXは単にツールを導入することではなく、業務のやり方や考え方を見直すことが重要だと感じました。業務フローを作成したことで現状を可視化でき、自社に合った改善の方向性が見えてきたと感じています。

Q 現在DXやデジタル化に悩まれている企業様へのメッセージをお願いします。

A DXというとツール導入やコストがかかるイメージが強いですが、まずは業務のやり方を見直すことから始めることが大切だと感じました。必ずしも大きな投資をしなくても改善できることは多く、自社に合った方法を見つけていくことが重要だと思います。